

SSKS

社会福祉法人結の会

オフィス クローバー

o f f i c e c l o v e r

ニュース



2018年

寒さをふき飛ばせ!! 冬号



目次

(オフィス クローバーのページ)

マル障実現都民集会に参加しました／ごきんじょネット／大量封入作業……………P 2

共同バザール／未就労の方との交流会／忘年会……………P 3

《特集》

『検証！私たちの所内作業!!』……………P 4～5

(社会福祉法人結の会のページ)

第15回クリスマスミニコンサート／理事会報告／コーディネーター事業……………P 6

《読み物》『社会生活を送るには』—マル障実現都民集会に参加して—……………P 7

投稿作品／主な予定／編集後記……………P 8

～ 次号は2018年4月に発行予定です。お楽しみに！！ ～



オフィス クローバーのページ

一般就労にまだ自信を持ってない精神障害者を対象に、働く場を提供し、能力向上などの必要な訓練を行うところです。



マル障実現都民集会に参加しました

平成29年11月16日に戸山サンライズで開催された集会に利用者6名と職員1名が参加しました。身体・知的障害者が対象となっている東京都医療費助成制度に精神障害者も対象となるようアピールするための集会で、講演会后約100名で街頭パレードを行いました。P7に関連文章があります。（松田）

マル障の講演に大勢の人が集まって、話を聞きに来て、医療費の助成を訴えている人たちがいて心強かったです。NHKのテレビカメラも来ていて、有名な集会だなと思いました。シュプレヒコールはひたすら大声を出してアピールしていました。福祉新聞に写真が載っていて嬉しかったです。戸山サンライズから高田馬場駅まで約45分歩き続けて疲れてしまいました。（H.S）



「精神障害者にも医療費助成を！」

ごきんじょネット

平成29年11月27日「ごきんじょネット」で池袋の防災館へ行って来ました。十数名の「手をつなぐ親の会」のお母様方と松田さんと私とで行きました。防災に関するビデオを見て震度7の揺れを体験しました。揺れのすごさにみんな驚いたみたいです。いつもは高田馬場福祉作業所内のBakery cafe『まりそる』か4階の会議室でコーヒーを飲みながら地震の備えを話し合っています。今回は初めて〒169の郵便番号の方々とお昼を食べました。中華屋さんに入り私は五目焼きそばを食べました。絆が強くなったと思います。



防災訓練後みなさんと♪

（ゴマちゃん）

大量封入作業

今年もNHK旧友会様より大量の封入作業を頂きました。今回は創立50周年の記念誌も加わり、たくさんの封入物をみんなで協力して仕上げていきました。私は職員さんがチェックを終えた封入済みの封筒を、封緘する方が取りやすいように丁寧に段ボールへ入れる作業をしたのですが、1個が重かったので大変でした。（サボハニ）



みんなで丁寧に作業しています

共同バザール

平成29年12月5、6日に新宿西口イベントコーナーで第12回新宿区内障害者福祉施設共同バザールが行われました。利用者5名と職員8名で販売及びステンシル実演を行いました。ブースのディスプレイも昨年より力を入れて工夫しました。ハガキや布製品は何ヶ月も前から生産計画を立てて、たくさん準備したので過去最高の売り上げを達成できました。表彰式ではファミマ賞を頂き、商品券とお菓子をもらいました。（赤津）

「いらっしゃいませ～。どうぞご覧下さい。」とおお客様への声掛けを頑張りました。赤津さんと一緒に売り子が出来て楽しかったです。たくさんの商品が売れて嬉しかったです。（TS）



未就労の方との交流会

平成29年12月15日、夜の6時半から（公財）新宿区勤労者・仕事支援センター主催「未就労の方との交流会」が今回はオフィス クローバーで行われました。交流会は初めての参加となりどんな話が聞けるのかとても楽しみでした。内容としましては二部構成で、一部は就労された方の体験を、二部はお茶を囲んでの茶話会となり、両方とも身に沁みる話が聞けました。自分としましては就労を最近考えていましたのでとても参考になり、就労意欲が高まりました。来年までに就労出来れば良いな、とも思いました。（ワンルーム）



発表者（中央奥）の話を聞く参加者

忘年会

平成28年度の忘年会は右手首骨折で役立たずの私でしたが、平成29年度の忘年会は係りも担い元気に参加できました。係りは事前準備から行いはりきっていましたが、当日のジャンケン大会で新人職員の気迫に負けてしまいがっかりでした。ビンゴゲームはリーチはかかるが、ビンゴとはいかずヤキモキしていると、何とラストワン賞だってサ！ついているのかいないのか？マツついているんでしょう。ありがたく頂きました。その後通院先のナイトケアで誕生会があり、ココでもビンゴ大会！当たりました!!ついでるんだ♡。このラッキーを平成30年まで持ち越したいと思います。作業所の皆さん平成30年も宜しくお願いします。（モトヤン）

皆でお菓子を食べて、ビンゴで景品をもらって楽しかった。（きんぞう）



《特集》

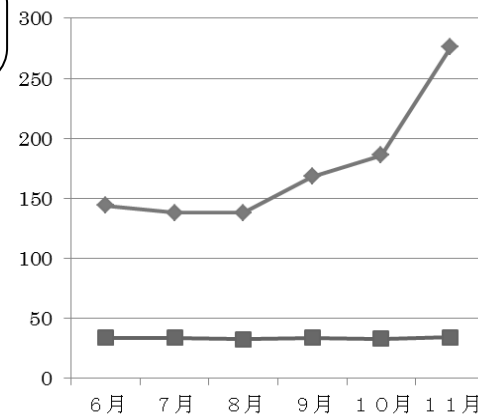
「検証！私たちの所内作業!!」

日々オフィス クローバーで行われている所内作業は、利用者にとどのよう役に立っているのか？工賃を得たり、体力や集中力がついたり利用者にとって良い点があるから毎日約35名が通所し作業に携わっているのだと思いますが、どれだけの良いことがあり、どのような効果が実際に表れているのか？3つの視点を切り口に、漠然と感じている所内作業の効果をできる範囲で見える化し、検証してみました。見える化にあたっては、平成29年度第三者評価の調査結果報告書やオフィス クローバーの支援を受けて就労したOBへのアンケート調査結果、毎月の作業工賃額、利用者の出席実績表、年1回行う「所内作業ミーティング」の記録を参照しました。

視点1「工賃」

[DATA] 工賃額（時給）
一日平均通所者数

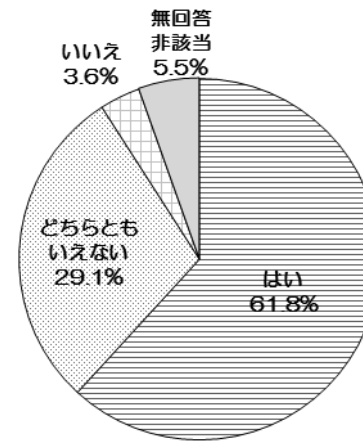
6月～11月の「工賃額（時給）」と「一日平均通所者数」の関係グラフ



- オフィス クローバーでは、月ごとの売上をその月の労働時間で割り、工賃を計算しているため、月ごとに時給が変動する。8月以降「時給」はどんどん高くなり、特に11月は8月の時給の2倍の金額となったが、「一日平均通所者数」に大きな変化は見られなかった。
- 工賃を稼ぐことは張り合いになるが、それが全てではなく、自分のペースで通所し、来所すればいつも仕事があることが利用者にとって重要であると考えられる。

視点2「就労」

[DATA] 「事業所での活動は就労に役立っているか？」
第三者評価調査結果より



- 第三者評価の結果から、「就労に役に立っている」と回答した人が61.8%と6割を超えた。「事業所での活動は社会生活の上での大きな助けになっています。」「規則正しい生活が送れるようになった。」「より就労に近い場で試すと、ここで作業をやっていてよかったと思える。」などの意見があった。
- OBへのアンケート調査結果では、「就労に必要」なのは1位「体力」2位「健康管理」3位「生活リズム」だった。所内作業を通じこれらも向上していることを利用者は感じていると考えられる。

視点3「やりがい」

- オフィス クローバーでは、平成28年10月に所内改装を行い、作業部材の整理整頓、動きやすい動線を考えた配置に改善された。それにより、作業部材や備品の置き場がわかりやすくなり、利用者は職員に聞かずとも次の手順など自分のすべきことを自分で判断できる環境が整えられた。自らの責任で業務を遂行することで仕事に張り合いとやりがいを感じられるようになった。
- 自主製品においては、次回納品に向けての生産目標数や売れ筋商品の明確化等の情報を共有することで、いつまでに何をどのくらい生産するか利用者自らが考え業務にあたるようになった。前回より早くたくさん納品ができ、売り上げが上がった時はモチベーションが上がり喜びを感じている。

所内改装ビフォーアフター



私がやりがいを感ずる時

自分の能力でできる事がある喜びを感じ、「継続は力なり」が実感できた時。

質のよい製品ができた時や目標数量が達成できた時。

皆で間違いのないように作業して、全部やり遂げた時。

以前教わったパソコン操作を思い出し、できあがった時。

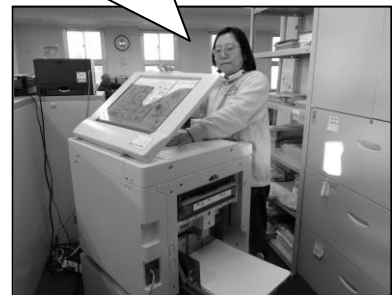
所内作業紹介



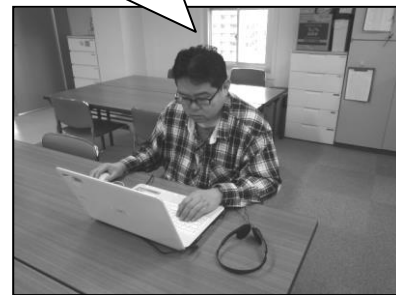
自主製品作成



サンプル注入器作成



DM発送・印刷作業



パソコン入力

まとめ「見えてきた事」

- 日々行っている所内作業について3つの視点でその意義と効果を検証しました。その結果、「工賃」を得ることを楽しみにしつつも、自分の体調に合わせてペースを崩すことなく通所し、安定して作業に携わろうとしている利用者の姿や、所内作業に参加することで生活リズムを整え「就労」という次の目標に向かおうとしている姿、職員と共に生産目標や納期を目指して質の高い仕事をし、そこに「やりがい」を見出している利用者の姿が見えてきました。
- 作業ごとのインタビューからは、仕事に対する利用者の前向きな発言が多く聞かれました。所内作業を通して仕事の感覚を取り戻し、生活リズムや体調を整えるなどその意義と効果を確認できました。

社会福祉法人結の会のページ

オフィス クローバーを経営する
社会福祉法人の本部です。

第15回クリスマスミニコンサート



平成29年12月9日、地域の方々をお招きし、アラムニー音楽お届け便による演奏、歌を楽しめるクリスマスミニコンサートが7階のオフィス クローバーで行われました。私は司会を初めて務めました。日々の活動報告を行い、心の病を持つ方が書いた詩を利用者と職員で朗読しました。寒い冬の季節に心がとても温かくなる気持ちになりました。そして演奏が始まり、二部構成で盛り上がりました。私はディズニー映画の『美女と野獣』のピアノの連弾がとても感動的で印象に残りました。私は人前に立って話す事にとっても緊張しましたが、何とか無事乗り切りました。このような機会を通じて、様々な方々との交流があって、充実した時間を過ごすことができました。

(M・M)



アラムニー音楽お届け便の皆様♪

理事会報告

平成30年1月25日、平成29年度(社福)結の会第4回理事会を開催しました。9月～1月までの間に実施した、「OBと利用者との懇談会」や「日帰り旅行」などの活動報告を行った後、平成30年度評議員候補者推薦等について審議しました。議案は全会一致で承認されました。1月より当会の顧問弁護士として就任した、社会福祉法や労務に精通した菅田正明氏にも出席いただき、役員会運営のアドバイスをいただきながら会を進行することができました。

(松田)

コーディネーター事業



東京都福祉人材対策推進機構が主催する「事業者支援コーディネーター派遣プロジェクト」に申し込み、抽選を経て経営強化のためのコーディネーター派遣が決定。全6回の訪問の中で、法人の課題抽出から解決までを行っていただけます。平成29年11月15日に第1回目が行われ、管理職2名がヒアリングを受けた結果、人材育成計画の作成と人事考課の統合的な運用等のアドバイスをいただくことになりました。最終日の2月20日までに階層別育成計画書等を完成させるべく準備を進めている所です。また、職員の帰属意識や満足度を計る「職場活性化アンケート調査」を実施し、12月14日に調査結果報告を受け、「職員の満足度が高く、モラルも高い。」と高評価を得ました。

(松田)

読み物

『社会生活を送るには』 — マル障実現都民集会に参加して —

淑行

わたしたちが健常者の人たちと同じ様に暮らすためには、健康であることそして、社会資源を平等に利用する事が出来ること、これら二つの事が不可欠です。

去る11月16日、わたしたちは職員、利用者の有志の皆様と、マル障の請願に関する講演、及び請願パレードに参加して来ました。

そこでの二つの講演では、非常に大きな示唆を与えられました。うち一つの講演は一自治体の福祉団体による、25年間にわたる利用者の予後の徹底した追跡調査でした。

報告の内容は実に衝撃的なものでした。長期治療者の皆さんの予後は概して悪く、いわゆる「早すぎる終り」を迎えられる人が非常に多いという事でした。その原因として、長期間の服薬はともかくとして、わたしたちの経済的状況に起因する劣悪な生活環境により、わたしたちは非常に困難な状況に置かれているという事、そしてその原因として、福祉的援助と、一般科医療といった社会資源的援助との間に大きな溝が存在するという事項が明らかとなりました。

また、医療現場に於いて不正行為が行われるという事は言語道断です。このように精神保健福祉という分野は、社会においてより包括的な、質・量ともなったネットワークであるとの感を深くしました。

障害の有る無しに拘らず、誰もがが必要最低限の社会生活を行う権利があります。そして、そのためには、より大きな社会、医療ネットワークが運営される必要があるという事、この集まりは、この一点を実感した非常に貴重な体験となりました。



こんな作業ができます！

- 原稿入力→印刷(簡易印刷機にて)→帳合・封入→発送までの作業をトータルで承ります。
- 納期が緩やかな軽作業を探しています。ご用命は下記連絡先へ。

TEL 03-3365-4177又は、
yuinokai@axel.ocn.ne.jpまでご連絡ください。

【見積もり例】

入力：1文字0.5円～
印刷：基本料1,000円～＋
A4サイズ1枚1円×枚数
A3サイズ1枚2円×枚数
帳合：1点1円～
封入・封緘：1点1円～(応相談)

《投稿作品》

『冬の旅』

梢の先に
冬枯れの木の葉が
揺れて居る

過ぎ去った歳月は
歴史の織りなす
数知れぬ時の足音

吹き荒ぶ烈風に
光芒はこうぼうなおも尽きせず

冬陽の中
影もまばらに
家路を急ぐ
人影しげく

だがそれも何だったのだろう
梢の落ち葉は既になく
虚空になびく雲
掌のさ中に

淑
行



《主な予定》

- 2月16日 評議員選任・解任委員会
 - 3月5日・6日 所内作業ミーティング
 - 3月10日 落合第一地域センター祭
 - 3月22日 理事会・評議員会
- ※毎月25日は工賃日です。印鑑をお忘れなく！
※第3月曜日は「スーツの日」です

《編集後記》

私がニュースレター編集委員に参加させていただいて3号目になりました。一からの作業は大変ですがとてもやりがいがあります。その中でも特集の企画は毎回とても頭を悩ませます。今回の特集は所内作業についての検証です。所内作業は就労に必要な様々な事柄の基本になっていたのだと、通所を続けていよいよ就労を見据えはじめた今になり、特集を通じて再認識することができました。（榎本）

| | | |
|---|--|---|
| オフィス クローバー 〒169-0075 新宿区高田馬場 3-18-25 第1 康洋ビル 7階 TEL 03-3365-4177 FAX 03-3365-4178 E-mail yuinokai@axel.ocn.ne.jp http://yuinokai-clover.com/ | 編集：淑行・和泉・榎本 松田・渡邊 イラスト：淑行、他 入力・印刷・発送： オフィス クローバー | 発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルトゥーラ祖師谷 102号室 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価 150円 |
|---|--|---|